

東アジア及び東南アジアにおける知事トップセールス

予算額 20,000千円 (㊸ 20,000千円)

1 事業の目的・概要

経済のグローバル化が進み、日本や欧米主要国の市場が縮小している中、高い経済成長率を維持している東アジア及び東南アジア地域は、世界的に注目を集めています。

そこで、これら地域において、千葉県の魅力を発信し、外国人の誘客を図るとともに、県産食品等の販路拡大を図るため、東アジア及び東南アジア地域において、観光物産展や商談会などをトップセールスにより行います。

2 想定訪問先

香港、タイ

3 事業内容（予定）

- 現地大手小売店等と連携した「千葉県観光物産展」の開催
- 現地で県産農林水産物をPRするフェアの開催
- 現地旅行業者等との商談会・交流会等の実施
- 現地食品バイヤー等との商談会の実施
- 現地マスコミ等への千葉県の魅力情報の発信



担当課・問い合わせ先
商工労働部経済政策課
043-223-2734
商工労働部観光課
043-223-2419
農林水産部生産販売振興課
043-223-3088

外国人による千葉県体験モニターツアー・情報発信事業【新規】

予算額 25,000千円

1 事業の目的・概要

千葉県観光の魅力を広く海外にPRし、外国人観光客の誘致促進を図るため、東アジア及び東南アジアの知事トップセールス訪問先を対象とした、モニターツアー等を実施します。

2 事業内容

○ 台湾の大学生を対象としたモニターツアーの実施 12,117千円

台湾で日本語を学んでいる大学生を、モニターとして千葉県に招致し、千葉県の魅力を体感・発信してもらいます。

<モニターツアーの概要>

- ・招致するモニターは、10名を予定
- ・4泊5日のツアーを2回実施予定
- ・ツアー期間中に、台湾の大学生と県内の大学生や観光事業者との交流会を開催
- ・モニターは台湾に帰国後、自身の体験に基づき、千葉県の魅力について情報発信（インターネットを通じた情報発信、県主催の現地プロモーションでの情報発信）



○ 海外のメディアや旅行会社を対象としたファムトリップの実施 12,883千円

海外のメディアや旅行会社を、千葉県各地のイベント開催等に合わせて招致し、ファムトリップを実施することにより、海外の新聞や旅行雑誌などへの記事掲載によるPRや、旅行商品（ツアー）の造成を促進します。

<ファムトリップの概要>

- ・タイとシンガポールのメディア・旅行会社を想定
- ・観光施設やイベントの視察
- ・併せて県内観光事業者等とのマッチングを図るため、商談会を開催



※ファムトリップ…現地の視察(下見)を目的としたツアー

担当課・問い合わせ先

商工労働部観光課

043-223-2419



千葉の魅力発信推進事業

予算額 150,700千円 (㊸ 140,000千円)

1 事業の目的・概要

本年10月に開催される「ちばアクアラインマラソン」をはじめ、成田空港、観光、農林水産物など、本県の有する様々な魅力を各種メディア等を通じ効果的かつ積極的に情報発信し、「千葉ブランド」の確立・向上を図ります。

2 事業内容

(1) テレビ(在京キー局)による映像情報発信

在京キー局において千葉県内の観光資源や農林水産物等、様々な千葉県魅力を紹介する番組を制作します。

(2) ラジオを活用した情報発信

在京AM局やFM局等において観光や農林水産物等のCMを放送します。また、千葉県の多面的な魅力を紹介する番組を在京AM局にて制作します。

(3) 新聞広告

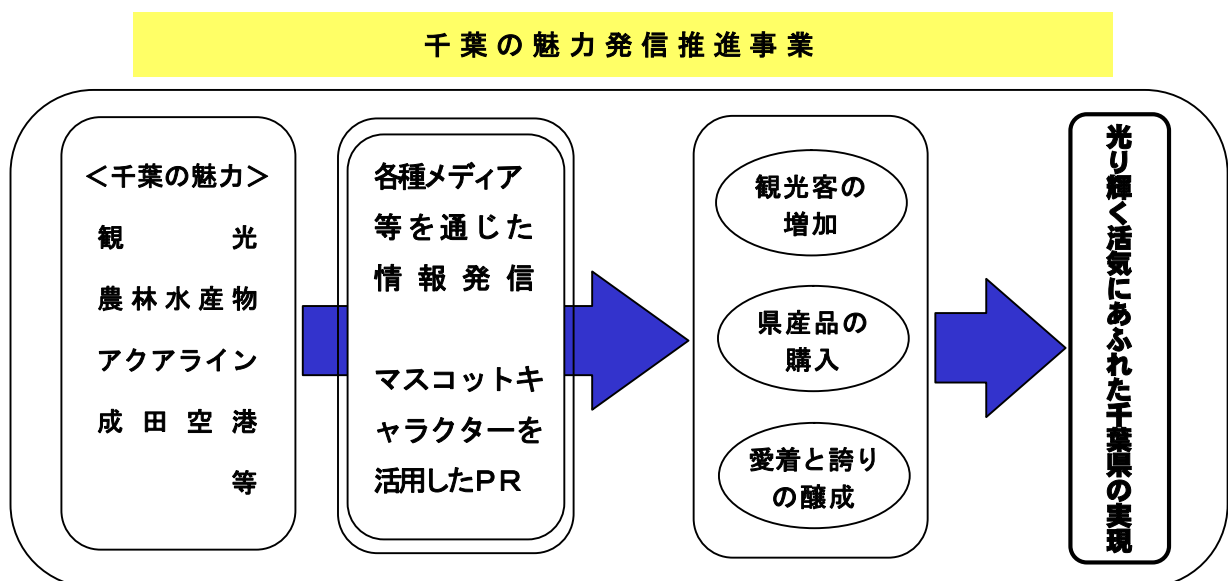
観光キャンペーンなどの機会を捉え、全国紙に千葉の魅力をPRする広告を掲載します。

(4) 交通広告

首都圏のターミナル駅などへのポスターの掲出と電車内の中吊り広告により、首都圏への通勤通学者等に向けて千葉の魅力を発信します。

(5) マスコットキャラクターのイメージ展開

千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」をデザインした広報用グッズ等を作成し、イベント等を通じて広く本県のPR・イメージ向上等を図ります。



担当課・問い合わせ先

総合企画部報道広報課

043-223-2252

観光プロモーション事業

予算額 160,310千円 (㊦ 108,000千円)

1 事業の目的・概要

本県を訪れる観光客の増加を図るため、市町村等と連携して季節に応じた観光キャンペーンを展開し、本県の様々な魅力をPRしていきます。

また、木更津金田地区にオープンするアウトレットパークにおいて、国内外から訪れるお客様に対し、観光情報を積極的に発信します。

2 事業内容

○ 観光ちば全国発信事業 108,450 千円

- ・ イベントやメディアへの出演による知事トップセールス
- ・ 交通広告を活用したPR
- ・ 在京メディアを対象とした取材旅行の実施
- ・ ガイドブック等によるPR

等



鉄道の車内モニター広告

○ 旅フェア 2012 出展及び物産展の開催 28,000 千円

○ 修学旅行の誘致 2,560 千円

- ・ 教育関係者・旅行会社を対象としたモニターツアー
- ・ 観光関係者による修学旅行誘致キャラバン

○ 木更津金田地区アウトレットパーク内観光情報センター(仮称)の運営

【新規】18,000 千円

木更津金田地区に平成24年4月にオープンするアウトレットパークにおいて、パークの立地や集客力を活かした観光プロモーションを展開するため、観光情報センターを運営します。

〔運営主体〕(社)千葉県観光物産協会 ※県が協会に運営経費を助成

担当課・問い合わせ先

商工労働部観光課

043-223-2419



県産農林水産物魅力発信事業

予算額 31,000千円 (㊦ 31,000千円)

1 事業の目的・概要

知事のトップセールスやマスメディアを活用して、県民や首都圏に向けて積極的なPR活動を展開し、県産農林水産物のイメージアップを図るとともに、量販店・百貨店での千葉県フェアやセールスプロモーション、商談会の開催等を通じて、販路の拡大を図ります。

2 事業内容

(1) 県内・首都圏向けPR 23,010千円 (㊦ 23,410千円)

新たに都内や神奈川県内で消費者向けの告知イベントや広報宣伝活動を集中的に展開するとともに、知事のトップセールスなどを通じて県産農林水産物の魅力を首都圏にアピールします。また、年4回の「農林水産物販売促進月間」を中心に、量販店・百貨店の千葉県フェアの開催等を引き続き実施します。

年間スケジュール

- 6月 ・ **消費者向けPRイベントの開催（神奈川県）** 【新規】
神奈川県内のイベントスペースで県産農林水産物をPRします。
- ・ **夏の千葉県フェアの開催（千葉県・東京都）**
千葉県民の日を中心に百貨店・量販店で夏野菜等をPRします。
- 9月 ・ **秋の千葉県フェアの開催（千葉県・東京都）**
新米・ナシを中心に百貨店・量販店でPRします。
- 11月 ・ **消費者向けPRイベントの開催（東京都）** 【新規】
都内のイベントスペースで、知事のトップセールスを実施します。
- ・ **東京都大田市場でのPRイベントの開催（東京都）**
秋冬野菜が本格出荷される時期に併せ市場向けにPRします。
- ・ **冬の千葉県フェアの開催（千葉県・東京都）**
秋冬野菜等を中心に百貨店・量販店でPRします。
- 2月 ・ **春の千葉県フェアの開催（千葉県・東京都）**
春野菜等を中心に百貨店・量販店でPRします。

(2) 商談会の開催・出展による販路の拡大 7,990千円 (㊦ 7,590千円)

「ちば大地と海の恵み商談会」(1月)を開催するほか、民間主催の商談会へも出展し、県産農林水産物の販路拡大を図ります。

担当課・問い合わせ先
農林水産部生産販売振興課
043-223-3085

「がんばろう！千葉」有料道路利用観光振興事業【新規】

予算額 32,000千円

1 事業の目的・概要

東日本大震災及び原子力発電所事故等により、本県では昨夏の海水浴客が半減するなど、観光入込客が減少し、今なおその影響が尾を引いている状況にあります。

そこで、本県観光の元気回復を図るため、市町村が千葉県道路公社所管の有料道路の無料往復通行券を、地域の観光プロモーションにおいて活用する事業に対し助成します。

2 補助内容

(1) 事業主体：市町村

(市町村が市町村観光協会への補助事業として実施する場合を含む。)

(2) 補助対象経費：千葉県道路公社が供用している有料道路の往復通行券の購入経費

(往復通行券の作成経費は市町村負担とする。)

(3) 補助率：10/10

<市町村における活用事例>

- ・各種メディアを通じたPR事業でのプレゼント
- ・観光・宿泊施設における誘客特典としての活用（お客様へのプレゼント）
- ・県内外で観光PRを行う観光キャラバンや街頭キャンペーンでの配布 など

【参考】千葉県道路公社所管の有料道路

() 内は往復通行料金

- 1 房総スカイライン有料道路 (往復：600円)
- 2 鴨川有料道路 (往復：400円)
- 3 千葉外房有料道路 (往復：600円)
- 4 東金九十九里有料道路 (往復：400円)
- 5 九十九里有料道路 (往復：800円)
- 6 銚子連絡道路 (往復：400円)
- 7 東総有料道路 (往復：400円)
- 8 利根かもめ大橋有料道路 (往復：400円)
- 9 流山有料道路 (往復：200円)



担当課・問い合わせ先

商工労働部観光課

043-223-2419



サイクルツーリズム推進事業

予算額 16,000千円 (㊦ 12,300千円)

1 事業の目的・概要

- 全国一平均標高が低く、首都圏にありながら豊富な観光資源に恵まれている 本県はサイクリングを楽しむには絶好の環境にあります。
- また、サイクリングは、全国に愛好者がいる裾野の広いレジャーであるとともに、健康志向や環境志向の高まりから、今後、サイクリング人口はさらに増加していくものと考えられます。
- そこで、本県の地域特性を活かしサイクリングを活用した観光振興を図るため、平成23年度にモデル事業を実施したサイクルツーリズムの拡大・定着を図ります。

2 事業内容

平成23年度サイクルツーリズムモデル事業

実施地域：「中房総地域」「南房総地域」の2地域において実施
主な取組：モデルコース設定、サイクルステーション(※)整備、
ガイドマップの発行、専用ホームページによる広報など
※サイクルステーション
…休憩や自転車のメンテナンスができるサイクリストの立ち寄りスポット



【サイクルツーリズム推進
ロゴマーク】

平成24年度サイクルツーリズム推進事業

○サイクルツーリズム広域連携事業補助金 9,000千円

補助先：複数市町村を構成員とする団体

対象事業：地域におけるサイクルツーリズムを推進するための環境整備及び広報PRなどの取組

(例) モデルコース設定、サイクルステーション整備、マップ等の作成、
サイクルイベント開催 など

補助率：①取組1年目 2/3以内(限度額2,000千円)

②取組2年目 1/2以内(限度額1,500千円) ※23年度モデル地域

○サイクルツーリズム推進のための普及啓発等 7,000千円

サイクリング客の誘致を促進するため、県内外へ向けた普及啓発・情報発信事業を実施。

【主な実施内容】サイクルイベントでのPR、マップ・リーフレット等の作成、
専用ホームページの運営 など

担当課・問い合わせ先

商工労働部観光課

043-223-2419



観光地魅力アップ緊急整備事業

予算額 140,000千円 (㊸ 190,000千円)

1 事業の目的・概要

県内観光地の利便性を高め魅力向上を図るため、多くの観光客が利用する公衆トイレや駐車場、観光案内板等の設置・改修について、その経費の一部を助成します。

2 事業内容

〔市町村・民間観光関連施設枠〕 予算110,000千円

○市町村が実施する施設整備

補助対象施設：トイレ、駐車場、観光案内板、観光案内所

補助限度：(観光圏) 対象経費の2/3以内、上限10,000千円

(その他) 対象経費の1/2以内、上限10,000千円

○民間事業者が実施するトイレを除く施設整備 (市町村を通じて補助)

補助対象施設：駐車場、観光案内板、観光案内所

補助限度：対象経費の1/3以内 (市町村が1/6以上負担)

上限5,000千円

〔民間観光トイレ美化整備促進枠〕 予算30,000千円

○民間事業者が実施するトイレ整備 (市町村を通じて補助)

補助対象施設：一般の観光客が利用できるトイレ

補助限度：対象経費の1/2以内、上限5,000千円

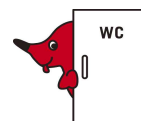


整備事例 (香取市：小野川沿い観光トイレ)

担当課・問い合わせ先

商工労働部観光課

043-223-2419



ちばアクアラインマラソン開催事業

予算額 93,000千円 (23 45,000千円)

1 事業の目的・概要

県民のスポーツを通じた健康増進や体力向上の促進と、千葉県が有する様々な魅力の発信を目的とした千葉県独自のスポーツイベントとして、東京湾アクアラインを活用した「ちばアクアラインマラソン」を開催します。

2 事業内容

(1) 開催日時

平成24年10月21日(日)

午前10:00スタート

(2) 種目

マラソン(42.195km)

(3) コース

東京湾アクアライン橋梁部を利用するコース

木更津潮浜緑地公園～木更津金田IC
～海ほたる(折り返し)～袖ヶ浦市役所
～袖ヶ浦公園～木更津市役所
※ 強風によりアクアライン上の走行ができない場合、コースの変更あり

(4) 制限時間 6時間

(5) 定員 15,000人

(6) スケジュール

平成24年3月 募集要項公表

4月 参加者募集



担当課・問い合わせ先
教育庁 教育振興部 体育課
043-223-4111

グレード・アップ「ナリタ」活用戦略会議運営事業

予算額 3,000千円

1 事業の目的・概要

成田空港では、一昨年の年間発着枠 30 万回化の合意後、国内線や LCC の新規乗り入れが相次いでおり、県では、この活力を県勢発展に活かすため、昨年 12 月、“グレード・アップ「ナリタ」活用戦略会議”を設置しました。

会議では、有識者の皆様から広く御意見をいただき、今年 8 月末を目途に提言をとりまとめます。

2 事業内容

会議を 3 回程度開催するほか、成田空港の内陸ハブ機能強化のため、新規就航が期待される国内都市を訪問し、連携を図ります。また、官民一体となった空港支援体制（利用促進協議会等）の活動について知見を広げます。

(※視察先候補：高松等)

[事業の背景]

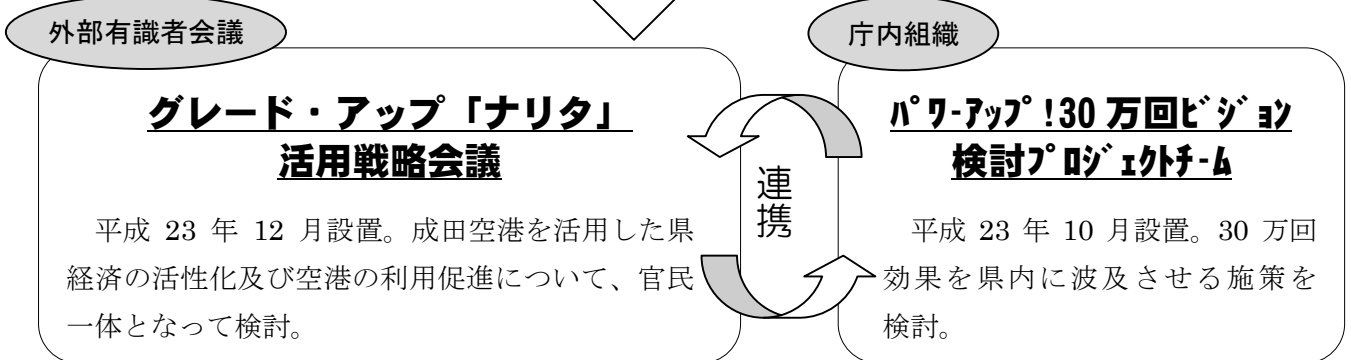


平成22年10月 年間発着枠30万回合意

新たな動き

- ①海外 LCC の就航実現
(ジェットスター、エア・サン、イースター航空)
- ②国内 LCC が設立・年内就航
(エアアジアジャパン、ジェットスター・ジャパン)
- ③国内線が充実
(スカイマークの新規就航が実現・就航都市拡大中)

こうした新しい動きを県経済活性化に活かすために…



今年 8 月末 提言を取りまとめ

担当課・問い合わせ先
総合企画部空港地域振興課
043-223-2268